

カタールにおけるドレスコード

【 概要 】

- 当国はイスラム教を国教としており、ドレスコードにもその教えや戒律が反映されています。イスラム教において露出の高い服装は不適切とされており、場合によっては現地のイスラム教徒に対し強い不快感を与えることもあります。
- 基本的にはイスラムの戒律が異教徒に強制されることはありませんが、当地新聞には外国人女性の服装の乱れを指摘する記事等が掲載されたり、大型ショッピングモール等、人の出入りが多い施設では監視員などから注意を受ける事案も発生しています。

女性は肌を露出する服や、体のラインがはっきり現れる服、透ける素材の服などをなるべく避け、男性であっても、極端に短い短パンやランニングシャツ等は避けるなど、当地での常識に即した服装を心掛けるよう注意してください。特にイスラムの神聖月とされるラマダン中には服装への一層の気配りが必要です。
- またショッピングモール内で、奇抜なファッションをしていたグループが、当地の風習等に反しているとしてカタール人から注意を受け、ケンカになった事例も報告されています。

【 公的行事・パーティー等での服装 】

- ホテル等で行われる公的行事や、パーティー等に参加する場合、男性であればビジネス・スーツ、女性の場合は、それに準じた服装やフォーマルな服装、その他TPOに応じて適宜組み合わせているようです。

【 和服 】

- 和服はカタールでも大変賞賛されており、日本文化の紹介の一助にもなっています。男性の場合は、和服の必要は全くありませんが、和服を着ると大変喜ばれると言えます。

女性も、可能であれば一枚程度持参してもいいかと思いますが、MUSTというわけではありません。子どもの浴衣等を持参している在留邦人の方は多く見受けられます。

なお、当地カタール人の結婚式等に招待された場合、新郎新婦よりも目立ってしまうとの理由から、和服は避けた方が無難だとの意見もあります。



女性の水着に制限があるビーチもあります。